

「クスノキ」本棚できた

中洲小150周年記念事業

倉敷

児童、シンボル基に考案

倉敷市立中洲小（同市水江）の図書館に、校庭中央にあるクスノキ



校庭のクスノキをモチーフに考案した本棚

キをモチーフにした本棚がお目見えした。昨年4月の創立150周年記念事業の一環でPTAや卒業生でつくる実行委が企画。県立大（総社市）教授と連携し、児童有志がデザインを考案した。本棚は八角柱の形状に分かれる柱を立てて

いる。

木工作家である県立大工芸工業デザイン学の南川茂樹教授に実行委が製作を依頼。教授から「児童の意見を採り入れたい」と要望があり、6年生有志14人と一緒に昨秋からデザインを練り上げた。

1月下旬にお披露目式が図書室であり、デザインに携わった児童と南川教授、実行委メンバーら計約40人が出席。本棚が除幕されると、児童らから歓声が上がった。

力です晴らしい本棚が図書室がもっと愛着のできた」と南川教授。持てる空間になればう

6年一安健太君(12)は「学校のシンボルをモチーフにしたかった。」と話した。（金尾雅広）

「子どもたちの想像

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。